
報告者・コメンテーター紹介

高橋五郎<TAKAHASHI Goro>

愛知大学国際中国学研究センター所長、現代中国学部教授

愛知大学法経学部卒業、千葉大学大学院博士課程修了、農学博士（生物科学専攻）。現在、愛知大学現代中国学部教授、愛知大学国際中国学研究センター所長。主な研究テーマは、中国の農村・食料経済問題、中国社会調査法。主な著訳書に『国際社会調査－理論と技法－』（農林統計協会、2000）、『世界食料の展望－21世紀の予測－』（翻訳）（ダンカン他著、農林統計協会、1998）、『新版国際社会調査－中国旅の調査学』（農林統計協会、2007）、『中国経済の構造転換と農業－食料・環境問題のゆくえ－』（日本経済評論社、2008）、『海外進出する中国経済』（編著、日本評論社、2008）などがある。

ジャック・ホウ<Jack W. HOU>

カリフォルニア州立大学ロングビーチ校経済学部教授

1989年にイェール大学大学院博士課程修了、Ph.D.取得。1989年、カリフォルニア州立大学ロングビーチ校講師、1993年同准教授を経て1998年より現職。カリフォルニア大学ロサンゼルス校客員教授、中国留美経済学会長を兼務。主な研究分野は労働経済学、国際経済学、中国経済論。主な著書・論文に“Evolution of Economic Institutions and China’s Economic Reform” in *The Impact of Globalization on Basic Social Institutions*, papers and proceedings from the Fifth International Conference of the Global Awareness Society, May 1997, “Evolution of Economic Institutions and China’s Economic Reform,” *The Social Science Journal*, 39(2): 363-379, 2002. Joint with C. C. Hou (Soochow University), “Rural Reform and the Welfare Impact on Urban Workers: An Analytical Approach”, in Aimin Chen, Gordon G. Liu, and Kevin H. Zhang (eds.), *Urbanization and Social Welfare in China* (England: Ashgate), pp. 10773-137, 2004, “Evolution of Economic Development: Entrepreneurs, Market, and the State,” in Shuanglin Lin and Shunfeng Song (eds.), *The Revival of Private Enterprises in China* (England: Ashgate), pp. 89-105, 2007 などがある。

呉 曉 波<WU Xiaobo>

浙江大学創新管理・与持続競争力研究国家創新基地主任、管理学院副院長・教授

浙江大学大学院博士課程修了、管理学博士。1998年から浙江大学管理学院教授。中国教育部高校管理科学与工程類教学指導委員会委員、浙江大学－ケンブリッジ大学“全球化製造・与創新管理連合研究センター”中国側主任、浙江大学“中国－スウェーデン管理研究センター”中国側副主任、西南交通大学客座教授等を兼務。この間、ケンブリッジ大学、マサチューセッツ工科大学等で在外研究をおこなう。主な研究分野は技術革新管理、IT技術と管理変革など。主な著書に『全球化製造・与二次創新－贏得後發優勢』、『信息化帶動工業化的理論・与実践』、『浙江省創新型經濟評価藍皮書』、『公司戰略』、『供應鏈・与物流管理』、『西方工商管理学名著提要』などがある。

ルー・ディン<LU Ding>

フレーザーバレー大学経済学部教授

復旦大学卒業、米国・ノースウエスト大学博士課程修了(Ph.D.取得)。ネブラスカ大学、シンガポール国立大学教授、上智大学国際教養学部教授を経て2008年9月から現職。2004年5月から7月まで愛知大学COE訪問教授を兼任。主な研究分野は国際貿易、国際投資および地域経済発展。主な著書に、“*Entrepreneurship in Suppressed Markets: China’s Private Sector Experience*” (New York: Garland, 1994), “*State Intervention and Business in China: the Role of Preferential Policies*” (UK: Edward Elgar, 1997), “*China’s Telecommunications Market: Entering a New Competitive Age*” (UK: Edward Elgar, 2003) などがある。

敵善平<YAN Shanping>

桃山学院大学経済学部教授

中国安徽省生まれ。南京農業大学卒業。1985年来日。1991年京都大学大学院博士課程修了、農学博士号取得。1992年桃山学院大学経済学部専任講師、助教授を経て、2000年から現職。東洋文庫研究員(2004年～)、早稲田大学現代中国研究所客員研究員(2008年～)を兼任。地域農林経済学会学会賞受賞(1994年)、日本農業経済学会学術奨励賞受賞(1998年)、日本農学進歩賞受賞(2002年)。近著に『中国的問題群ボックス6 農村から都市へ:農民大移動で中国はどうなる?(仮)』(岩波書店 近刊)、『中国の人口移動と民工:マクロ・ミクロ・データに基づく計量分析』(勁草書房、2005)。『シリーズ現代中国経済2 農民国家の課題』(名古屋大学出版会、2002)がある。

佐藤元彦<SATO Motohiko>

愛知大学経済学部教授【国際中国学研究センター運営委員】

慶應義塾大学経済学部卒業。日本学術振興会特別研究員、愛知大学経済学部専任講師、助教授を経て、2002年から教授。2008年8月から学長。主な研究分野は国際開発論、アジア太平洋経済論。主な著書に『脱貧困のための国際開発論』(単著、築地書館、2002)、『貧困緩和・解消の国際政治経済学』(単編著、築地書館、2005)、『開発経済学』(共著、慶應義塾大学出版会、2005)などがある。

田中英式<TANAKA Hidenori>

愛知大学経営学部准教授【国際中国学研究センター運営委員】

名古屋大学大学院国際開発研究科博士後期課程単位取得退学。愛知大学経営学部専任講師を経て、2005年より現職。主な論文に「日系企業の技術移転—台湾における現地サプライヤーへの技術移転を中心として—」(『経済科学』第48巻4号、2001)、「日系企業の二次移転—台湾における日系企業3社のケーススタディ」(『愛知大学経営論集』第147号、2003)、「直接投資を通じた技術移転と社会的能力—台湾のケース」(『中国経営管理研究』第4号、2004)がある。

山本一巳<YAMAMOTO Kazumi>

愛知大学現代中国学部教授【国際中国学研究センター運営委員】

早稲田大学卒業。1965年アジア経済研究所入所。マラヤ大学客員研究員、タマサート大学客員研究員、フィリピン大学客員研究員、アジア経済研究所開発スクール学部長を経て1997年より現職。研究分野は開発経済学、アジア経済。近年の主な著書に、“*Deregulation and Privatization in Asian Countries: Background, Achievements, and Issues*”, (Institute of Developing Economies, 2005), “*Economic Development and the Poverty and Inequality of Asian Countries*”, (Institute of Developing Economies, 2006), “*Evolution and Business Climate of Private Sector in Asian Countries*”, (Institute of Developing Economies, 2007)などがある。

川井伸一<KAWAI Shinichi>

愛知大学経営学部教授、国際問題研究所長【国際中国学研究センター運営委員】

東京大学大学院国際関係論博士課程修了。日本国際問題研究所研究員、在中国日本国大使館専門調査員、愛知大学経営学部助教授を経て、1995年より教授。2008年から国際問題研究所長を兼任。主な研究分野は、中国企業経営論、比較経営論、株式会社のコーポレート・ガバナンス比較/中国国有企業改革。主な著書に『中国企業とソ連モデル—長制の指摘研究』(アジア政経学会、1991)、『中国企業改革の研究』(中央経済社、1996)、『中国上場企業—内部者支配のガバナンス』(創土社、2003)がある。

李春利<LEE Chunli>

愛知大学経済学部教授【国際中国学研究センター運営委員】

中国遼寧省生まれ。京都大学を経て、1996年東京大学大学院経済学研究科より経済学博士号を取得。1997年愛知大学経済学部へ赴任。中国経済論・産業経済論を専門分野とし、研究テーマは「中国製造業の国際競争力と日米欧多国籍企業」「中国の経済発展と資源・環境問題」。米国マサチューセッツ工科大学(MIT)IMVP 兼任研究員、ハーバード大学客員研究員、東京大学客員研究員、京都大学上海センター客員研究員などを歴任。国際ビジネス研究学会賞、日本経営史学会賞受賞。主な著書に『現代中国の自動車産業』(信山社)、*Fordism Transformed*(共著、Oxford University Press)、*Japanese Foreign Direct Investment and the East Asian Industrial System*(共著、Tokyo/Berlin: Springer Verlag)など多数。

藤田佳久<FUJITA Yoshihisa>

愛知大学文学部教授【国際中国学研究センター運営委員】

名古屋大学大学院文学研究科博士課程中途退学。理学博士。奈良大学文学部助教授、愛知大学文学部助教授を経て、現職。主な研究分野は地理学、中国地域研究。主な著書に『日本・育成林業地域形成論』（古今書院, 1995）『東亜同文書院・中国大調査旅行の研究』（大明堂, 2000）『東亜同文書院・中国調査旅行記録・第1～4巻』（大明堂, 1994～2002）などがある。

宋 献 方<SONG Xianfang>

中国科学院地理科学与資源研究所教授、同院陸域水循環及地表過程重点實驗室常務副主任

河北地質大学卒業。長春地質大学水文地質学・応用地質学専攻修士課程修了、筑波大学地理学・水文学専攻博士課程修了。博士(理学)。科学技術庁部防災科学技術研究所先端解析技術研究部、農林水産省農業環境科学研究所地球環境研究部の研究員を経て、2001年より地理科学興資源研究所教授、2004年より現職。2005年9月から2006年1月まで愛知大学国際中国学研究センターCOE訪問教授を兼任。主な研究分野は水文学、リモート・センシング、地球科学。主な論文に、*A study of interaction between surface water and groundwater using environmental isotope in Huaisha River basin* (共著)、*A study of groundwater cycle using stable isotope in Sri Lanka* (共著)、*Conceptual model of evolution of groundwater quality at the wet zone in Sri Lanka* (共著)、*Conceptual model of evolution of groundwater quality at the dry zone in Sri Lanka* (共著) などがある。

孫 発 平<SUN Faping>

青海省社会科学院副院長・教授

西北民族学院政治系卒業。甘肅省甘南州委党校、青海省委党校講師、副教授、教授、経済学教研部主任を経て、2006年から現職。主な著書に、『三江源生態系統服務功能価値評価研究』、『循環經濟理論与实践—以柴達木循環經濟試驗区為例』、『国際經濟環境与中国經濟改革』などがある。

朱 安 新<ZHU Anxin>

南京大学社会学院専任講師

名古屋大学大学院環境学研究科博士後期課程単位取得満期退学、博士(社会学)。名古屋大学大学院環境学研究科研究員、愛知大学国際中国学研究センターICCS研究員を経て、2008年から現職。主な研究分野は都市社会学、環境学。主な著書・論文に「雲南麗江古城の消えつつあるナン族社会」(秋道智彌編『水と世界遺産—景觀・環境・暮らしをめぐって—』, 小学館, 2007)、「中国と現代化」(西原和久・保坂稔編著『入門 グローバル時代の新しい社会学』, 新泉社, 2007)、「ポスト単位時代と地域社会の形成—北京市都心区の単位型地区を事例に—」(日本都市社会学会『日本都市社会学会年報24』, 2006) などがある。

一ノ瀬俊明<ICHINOSE Toshiaki>

独立行政法人国立環境研究所上席研究員、名古屋大学大学院環境学研究科兼任教授

東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。工学博士。林野庁技官、東京大学助手、国立環境研究所主任研究員を経て2008年より現職。中国上海・華東師範大学顧問教授を兼任。主な研究分野は、都市環境システム、都市気候学、地理情報、中国環境問題。主な著書・論文に「中国の都市をめぐると自然の和諧」(『中国の環境問題』, 榎根勇編, 日本評論社, 2008)、Counteracting Urban Heat Islands in Japan (Elsevier "Urban Energy Transition", 2008)、「千里走単騎」中国単身現地考察活動(『メコンと黄河—研究者の熱い思い—』, 学報社, 2007) などがある。

宮沢哲男<MIYAZAWA Tetsuo>

愛知大学経済学部教授

東京教育大学大学院理学研究科博士課程中途退学。理学修士。愛知大学教養部講師、助教授、教授を経て、現職。主な研究分野は地理学、水文学。主な著書は『豊川流域の水文環境』(岩田書院, 1999)、「タクラマカン砂漠における砂丘とゴビの粒度組成」(『沙漠研究』4巻1号, 2004)、「日本と中国の環境NGO/NPOの現状と今後の課題」(『中国の環境問題』日本評論社, 2008) などがある。

加々美光行<KAGAMI Mitsuyuki>

愛知大学現代中国学部教授【国際中国学研究センター運営委員】

東京大学文学部卒業。アジア経済研究所主任研究員、愛知大学法学部教授を経て、1997年より現代中国学部教授。2002年10月、文部科学省「21世紀COEプログラム」採択に伴いCOE拠点リーダー・国際中国学研究センター(ICCS)所長(～2008年5月まで)。この間、現代中国学部長、大学院中国研究科長などを歴任。主な研究分野は現代中国政治、中国政治思想。主な著書に『逆説としての中国一反近代化精神の敗北』(田畑書店,1986)、『知られざる祈り—中国の民族問題』(新評論,1992)、『歴史の中の文化大革命』(岩波現代文庫,2001)、『鏡の中の日本と中国—中国学とコ・ビヘイビオリズムの視座』(日本評論社,2007)、近著に『中国の発見』(編著、日本評論社,2008)、『中国の民族問題：危機の本質』(岩波現代文庫,2008)がある。

金 観 濤<JIN Guantao>

政治大学講座教授、香港中文大学中国文化研究所名誉高級研究員

1994年から2008年まで香港中文大学中国文化研究所当代中国文化研究センター主任・研究講座教授、2008年から現職。2005年4月から2005年7月まで愛知大学COE訪問教授を兼任。主な専門分野は中国史、現代中国政治。主な著書に『興盛與危機—論中国社会的超穩定結構』(共著、香港中文大学出版社,1992)、『開放中の変遷—再論中国社会超穩定結構』(共著、香港中文大学出版社,1993)、『中国現代思想的起源—超穩定結構和中国政治文化的演変(第1巻)』(共著、香港中文大学出版社,2000)、『觀念史研究—中国現代重要政治述語の形成』(香港中文大学当代中国研究センター,2008)などがある。

劉 青 峰<LIU Qingfeng>

香港中文大学中国文化研究所名誉研究員

元香港中文大学中国文化研究所『二十一世紀』(雑誌)編集長、同研究員。主な専門分野は中国史、現代中国政治。主な著書に『興盛與危機—論中国社会的超穩定結構』(共著、香港中文大学出版社,1992)、『開放中の変遷—再論中国社会超穩定結構』(共著、香港中文大学出版社,1993)、『中国現代思想的起源—超穩定結構和中国政治文化的演変(第1巻)』(共著、香港中文大学出版社,2000)、『觀念史研究—中国現代重要政治述語の形成』(香港中文大学当代中国研究センター,2008)などがある。

許 紀 霖<XIU Jilin>

華東師範大学中国現代思想文化研究所常務副所長、歴史系教授

華東師範大学政治系卒業、現在、華東師範大学歴史系教授、同大中国現代思想文化研究所常務副所長、同大歴史系近現代思想史専攻博士指導教員。このほか、上海歴史学会副会長、秘書長、中国史学会理事、上海哲学社会科学連合会委員等を兼務。主な研究テーマは20世紀の中国思想史と知識分子研究、上海の都市文化研究。主な著書に、『新世紀的思想地図』(天津人民出版社,2002)、『中国知識分子十論』(復旦大学出版社,2003)、『回帰公共空間』(江蘇人民出版社,2006)、『二十世紀中国知識分子論』(編著、新星出版社,2005)などがある。

張 玉 林<ZHANG Yulin>

南京大学社会学院教授

山東大学中文系卒業後、新華日報社に勤務。1992年京都大学留学、2000年博士号取得後、南京農業大学副教授、2002年9月南京大学社会学系就任、2004年11月から現職。この間、2006年9月から2007年1月まで愛知大学国際中国学研究センターCOE訪問教授を兼任。主な研究分野は現代中国の農村と農民問題。社会問題と社会生態に関心をもつ。主な著書・論文に『転換期の中国国家和農民(1978～1998)』(農林統計協会,2001)、「分級入学制度下的教育資源分配与城鄉教育差距」(『中国農村觀察』2003年第1期)、「離土時代的農村家庭—民工潮如何解構鄉土中国」(『洪範評論』第3巻第2輯)などがある。

毛里和子<MORI Kazuko>

早稲田大学政治経済学術院教授

東京都立大学大学院人文科学研究科修士課程終了。現在、早稲田大学政治経済学術院教授。主な専門分野は中国政治と外交、東アジア国際関係。主な著書に、『日中関係 戦後から新時代へ』（岩波新書, 2006）、『現代中国政治』（名古屋大学出版会, 1993/新版, 2004）、『現代中国政治を読む』（山川出版社, 1999）、『中国とソ連』（岩波書店, 1989）などがある。

臧志軍<ZANG Zhi jun>

復旦大学国際関係と公共事務学院政治系主任・教授

上海師範大学歴史系卒業、復旦大学国際政治系修了。復旦大学政治系副教授を経て現職。主な専門分野は日本政治、外交問題。この間、愛知大学交換研究員、日本国際問題研究所客員研究員を歴任。主な著書に『政府政治』、『文化改造と社会変革』、『日本公務員制度と政治過程』、『大国戦略研究』、『新世紀日本の行政改革』などがある。

張琢<ZHANG Zhuo>

愛知大学現代中国学部教授【国際中国学研究センター運営委員】

武漢大学哲学系卒業。中国社会科学院哲学研究所、同社会学研究所研究員、同研究生院教授、『社会学研究』雑誌編集長を経て、1998年より現職。主な研究分野は中国社会論、中国文化論。主な著書に『九死一生—中国現代化の坎坷歷程與中長期予測』（中国社会科学出版社, 1992）、『中国文明與魯迅的批判』（台湾桂冠圖書, 1993）、『發展社会学』（中国社会科学出版社, 2005）などがある

周星<ZHOU Xing>

愛知大学国際コミュニケーション学部教授【国際中国学研究センター運営委員】

中国陝西省生まれ。西北大学歴史学部卒業。1989年、中国社会科学院大学院博士号（民族学専攻）を取得。北京大学社会学人類学研究所副教授を経て、教授。この間、1992年から1993年まで筑波大学歴史人類学系「外国人特別研究員」（JSPS Postdoctoral Fellow）として日本滞在。2000年、愛知大学国際コミュニケーション学部に移籍、教授。専門分野は中国民族学と民俗学、現在の研究テーマは国家と民俗・風水と文化空間。主な著書『民族学新論』（1992）、『民族政治学』（1993）、『境界與象徴：橋和民俗』（1998）、『民俗学的歴史、理論与方法』（2006）などがある。

王処輝<WANG Chuhui>

南開大学高等教育研究所長、周恩来政府管理学院教授

南開大学歴史系卒業、経済学博士。南開大学社会学系講師、副教授、教授を経て現職。中国社会学会理事、中国社会諸相氏專業委員会副委員長兼秘書長を兼務。主な研究分野は中国社会思想史、教育社会学、産業社会学。主な著書に、『中国社会思想史（上、下）』（南開大学出版社, 1989、2000）、『中国社会思想史』（中国人民大学出版社, 2000）、『中国社会思想早熟軌跡』（人民出版社, 1996）などがある。

張海洋<ZHANG Haiyang>

中央民族大学中国少数民族研究センター主任、民族学社会学学院教授

吉林大学外語系英語専攻、中央民族学院民族学専攻卒業。中央民族学院講師、副教授を経て教授。2008年から現職。現在の研究テーマは中国の多元文化と和諧社会、中外民族文化比較、中国少数民族の權益保護と文化的發展など。主な論文に、「簡論中国的多元文化与和諧社会」（『思想戦線』2006年第2期）、「構建和諧社会与重建有神的社区」（『中国民族報』2007年3月23日号）がある。このほか、『民族学通論』、『中国民族学史』、『中国少数民族文化簡論』などの教材編集にも多数関与。

方 李 莉<FANG Lili>

中国芸術研究院芸術人類学研究センター主任・研究員

中央工芸美術学院（現清華大学美術学院）史論系卒業、博士号取得。北京大学社会学人類学研究所博士後流動站ポスドク、中国芸術研究院中国文化研究所研究員、副所長を経て、2008年から現職。国家民族民間文化保護專家委員会委員を兼務。主な著書に、『新工芸文化論－人類造物觀念大趨勢』（清華大学出版社, 1995）、『伝統と変遷－景德鎮新旧民窟業田野考察』（江西人民出版社, 2000）、『景德鎮民窟』（人民美術出版社, 2002）、『飄逝的古鎮：瓷都旧事』（群言出版社, 2005）、『費孝通・年思想録－文化的伝統と創造』（岳麓書社, 2005）などがある。

山下晋司<TAMASHITA Shinji>

東京大学大学院総合文化研究科教授

東京大学教養学部卒業。東京都立大学大学院博士課程修了。文学博士。東京都立大学人文学部助手、広島大学総合科学部助教授、東京大学教養学部助教授を経て、1995年より現職。専門は文化人類学。トランスナショナルリティ（越境）という視点から、観光や移住といったテーマを取り上げ、グローバル化にともなう新しい社会の展開や文化の生成について研究している。主たる関心地域は、東南アジア。また、応用・実践人類学の立場から、移民政策、シティズンシップ、人権の問題などに関心をもっている。編著書に『資源化する文化』（編著、弘文堂、2007）、『観光文化学』（編著、新曜社、2007）、『バリー観光人類学のレッスン』（単著、東京大学出版会、1999）など。

上 田 信<UEDA Makoto>

立教大学文学部教授

東京大学大学院人文科学研究科（東洋史専攻）修了。東京大学東洋文化研究所助手、立教大学文学部講師、助教授を経て、1997年から現職。主な専門分野は中国史、アジア社会論。主な著書に、『森と緑の中国史－エコロジカル・ヒストリーの試み』（岩波書店, 1999）、『トラが語る中国史－エコロジカル・ヒストリーの可能性』（山川出版社, 2002）、『東ユーラシアの生態環境史』（世界史リブレット 83）（山川出版社, 2006）『風水という名の環境学－気の流れる大地（図説：中国文化百華 15）』（農山漁村文化協会, 2007）などがある。

園田茂人<SONODA Shigeto>

早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授

東京大学文学部卒業。同大学院社会学研究科博士課程中退。87年から88年にかけて、中国・南開大学社会学系に留学。東京大学文学部助手、中央大学文学部教授などを経て、2005年から現職。専門は比較社会学、現代中国研究、アジア文化変容論。アジアの日系企業で働く現地従業員を対象にした調査や、中国の階層調査などに従事。アジアバロメーター・プロジェクトにも参加し、広く比較の視点から中国社会の変化を捉えようとしてきた。主な著書に『中国人の心理と行動』（NHKブックス、2001年）、『中国社会はどこへ行くか』（編、岩波書店、2008年）、『不平等国家 中国』（中公新書、2008年）などがある。2008年、『不平等国家 中国』により第20回アジア太平洋賞特別賞を受賞した。

馬場 毅<BABA Takeshi>

愛知大学現代中国学部長・教授【国際中国学研究センター運営委員】

東京教育大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学。博士(文学)。東京都立高校教諭を経て1997年より愛知大学現代中国学部長。2007年4月から現職。主な研究分野は中国近現代史、日中関係史。主な著書に『中国八路軍、新四軍史』（共著、河出書房新社、1989）、『秘密結社と国家』（共著、勁草書房、1995）、『近代中国華北民衆と紅槍会』（汲古書院、2001）などがある。

高 明 潔<GAO Mingjie>

愛知大学現代中国学部長・教授【国際中国学研究センター運営委員】

中央民族大学歴史科卒業。中央民族大学民族研究所助手・講師、東京大学教養学部文化人類研究室・東京大学東洋文化研究所汎アジア部門客員研究員・日本民族学振興会特別研究員、愛知大学現代中国学部長専任講師、助教授を経て2007年から現職。中央民族大学中国少数民族研究センター客員教授を兼任。主な研究分野は文化人類学。主な著書に『北京的少数民族』（共著、北京燕山出版社1988）、『最新教科書 現代中国』（共著、柏書房1998）、『内モンゴルはいま一民族区域自治の素顔』（主編著、『中国21』vol19、風媒社2004）などがある。

秋山知宏<AKIYAMA Tomohiro>

愛知大学国際中国学研究センターICCS 研究員

名古屋大学環境学研究科修了。博士(理学)。2007年から現職。主な研究分野は水循環(水文学)、自然地理学。主な論文に「中国甘肅省および内蒙古自治区における内陸河川の水質特性。」(『水文・水資源学会誌』、第17巻、2004)、「黒河流域における水利用がその下流域の水循環に与えた影響」『黒水城人文与環境研究』、中国人民大学出版社、2007)、「Surfacewater-groundwater interaction in the Heihe River basin, NorthwesternChina」(『Bulletin of Glaciological Research』、第24巻、2007)などがある。

李 佳<LI Jia>

愛知大学国際中国学研究センターICCS 研究員

名古屋大学大学院国際開発研究科修了。博士(学術)。2008年から現職。主な研究分野は開発金融論、中国経済論。主な論文に「China's Financial Market Fragmentation, 1978-2004」(『国際開発研究フォーラム』第32号、2006)、「The Financial Social Accounting Matrix for China and its Application to a Multiplier Analysis」(『国際開発研究フォーラム』第36号、2008)などがある。

宇都宮浩一<UTSUNOMIYA Koichi>

愛知大学国際中国学研究センターICCS 研究員

立命館大学経営学研究科修了。博士(経営学)。2008年から現職。主な研究分野は国際税務論、中国税制論。主な論文に「電子商取引課税問題と中国政府の対応」(『立命館大学社会システム研究』6号、2003)、「中国増値税の移転価格に与える影響について」(『立命館経営学』第44巻第6号、2006)、「中国における移転価格税制と移転価格検査」(『立命館経営学』第46巻第5号、2008)などがある。